

看護学部看護学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	75	老年看護学援助方法
2年	94	地域・在宅看護学実習 I

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	NSMd03				
			●		●					
科目名	老年看護学援助方法				単位認定者	桑田 恵美子 菅原 尚美		試験(筆記)	50%	
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	50%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	高齢者に特有な症状・疾患・障害として、廃用症候群・脱水症、低栄養・フレイル、転倒・転落、せん妄等がある。本科目では老年看護学援助論の学修を踏まえ、これらの高齢者特有の症状等に応じた看護の方法を学修する。事例や状況設定等の演習を通して老年看護の基礎的な実践能力を身につける。									
到達目標	1. 高齢者に特有な症状・疾患・障害（廃用症候群・脱水症、低栄養・フレイル、転倒・転落、せん妄等）の病態と要因、日常生活への影響、アセスメント、看護について説明できる。 2. 演習により生活機能障害のある高齢者の強みを活用した支援方法を実施し看護師の役割を説明できる。									
学修者への期待等	高齢者の看護において、高齢者に特有な症状・疾患・障害が生活にどのように影響しているか理解して支援することは重要である。高齢者自身の強みを活用した支援や、高齢者がセルフケア能力を取り戻すための支援について学修していきましょう。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	授業ガイダンス／ 高齢者の生活機能を整える看護援助の意義				【事前】「老年看護学援助論」の講義資料を復習してくること（1時間程度）			齋藤 美華		
2	高齢者の食生活を支える看護 ：食事、脱水、摂食嚥下障害、低栄養、フレイル				【事後】小テスト（15分程度）			桑田 恵美子		
3	摂食嚥下障害のある高齢者の看護 グループワーク・ディスカッション				【事前】課題事例を読み、摂食嚥下障害のある高齢者の自己学習（2時間） 【事後】グループワークで得た学びをもとに加筆・修正、提出（1時間程度）			齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美		
4	高齢者の排泄を支える看護 ：排泄、尿失禁、排便障害（便秘・下痢・便失禁）				【事後】小テスト（15分程度）			桑田 恵美子		
5	排便障害のある高齢者の看護 グループワーク・ディスカッション				【事前】課題事例を読み、排便障害のある高齢者の自己学習（2時間程度） 【事後】グループワークで得た学びをもとに加筆・修正、提出（1時間程度）			齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美		
6	高齢者の清潔・衣生活を支える看護 ：掻痒、痛み・しびれ、感染症				【事後】小テスト（15分程度）			桑田 恵美子		
7	皮膚掻痒感のある高齢者の看護 グループワーク・ディスカッション				【事前】課題事例を読み、皮膚掻痒感のある高齢者の自己学習（2時間程度） 【事後】グループワークで得た学びをもとに加筆・修正、提出（1時間程度）			齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美		
8	高齢者の活動と休息を支える看護 ：活動と休息、視覚・聴覚の障害、睡眠障害、せん妄				【事後】小テスト（15分程度）			桑田 恵美子		
9	視覚・聴覚障害のある高齢者の看護 グループワーク・ディスカッション				【事前】課題事例を読み、視覚・聴覚障害のある高齢者の自己学習（2時間程度） 【事後】グループワークで得た学びをもとに加筆・修正、提出（1時間程度）			齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美		
10	高齢者の歩行・移動を支える看護 ：歩行・移動、骨粗鬆症、廃用症候群、転倒・転落				【事前】教科書「第1部 [5] 歩行・移動を支える看護」を予習する（1時間程度） 【事後】小テストを行う（10分程度）			齋藤 美華 菅原 尚美		
11	歩行・移動に障害のある高齢者の看護 グループワーク・ディスカッション				【事前】グループワークの準備をする（1時間程度） 【事後】レポート課題を提出する（30分程度）			齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美		

回	授業計画	準備学修	担当
12	高齢者の呼吸・循環機能障害を支える看護 ：肺炎、COPD、高血圧	【事前】教科書「第2部 [9] 呼吸・循環機能障害と看護－肺炎・COPD・高血圧－」を予習する（1時間程度） 【事後】小テストを行う（10分程度）	齋藤 美華 菅原 尚美
13	高齢者の呼吸・循環機能障害を支える看護 ：脳卒中、不整脈、心不全	【事前】教科書「第2部 [9] 呼吸・循環機能障害と看護－脳卒中、不整脈、心不全－」を予習する（1時間程度） 【事後】小テストを行う（10分程度）	齋藤 美華 菅原 尚美
14	生活機能障害のある高齢者の看護 グループワーク・ディスカッション	【事前】グループワークの準備をする（2時間程度）	齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美
15	生活機能障害のある高齢者の看護の実際 グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション	【事前】プレゼンテーションの準備をする（2時間程度） 【事後】レポート課題を提出する（30分程度）	齋藤 美華 桑田 恵美子 菅原 尚美
教科書	『ナーシング・グラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害』堀内ふき他編、メディカ出版 『ナーシング・グラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践』堀内ふき他編、メディカ出版		
参考文献	『看護学テキストNiCE 老年看護学技術』正木治恵他編、南江堂 『手技と事例で学ぶ 実践！高齢者のフィジカルアセスメントー老化を理解して、異常を見逃さない！』角濱春美著、メディカ出版 『カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術』大塚眞理子著、医歯薬出版		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、2、4、6、8、10、12、13回の授業は講義形式で行う。 ・授業内課題は、小テスト（10%）、レポート課題（40%）で評価する。 ・授業内課題の小テスト、レポート課題については次回授業時にフィードバックする。 ・第3、5、7、9、11、14、15回の授業はA・Bクラスに分けて授業をする。 		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	NSMj03				
	●	●	●	●	●					
科目名	地域・在宅看護学実習 I				単位認定者	高橋 由美		認知領域 (知識)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	精神運動領域 (技術)	30 %
					授業形態	実習	授業時間数		40 時間	情意領域 (態度)
				授業回数		集中				
授業の概要	これまで学んだ知識・技術・態度を基盤に、地域で暮らす人々と家族の生活環境と健康との関連をアセスメントし、対象者のニーズを把握する地区踏査・地区視診の実際を学ぶ。また、母子・成人・高齢者を対象とする保健・福祉の場における地域の人々の生活を理解し、健康状態について把握する実習を通して地域・在宅看護の基礎的な実践能力を修得する。									
到達目標	1. 地域に暮らす様々な対象の健康と生活に関する現状と課題を理解することができる 2. 地域に暮らす様々な対象の活用可能な社会資源を理解することができる 3. 看護職を目指す学生として倫理観と責任を認識した行動ができる									
学修者への期待等	地域で暮らす様々な対象の生活環境や健康との関連をアセスメントし、地域・在宅看護の基礎的な実践能力を身に付ける実習です。これまで積み上げてきた学修を振り返り、主体的に臨みましょう。									
授業計画					準備学修					
I. 実習期間 1週間 II. 実習施設 老人福祉センター 障害福祉サービス事業所または障害者小規模地域活動センター 母子支援施設 III. 実習計画 1. 学内実習 1) オリエンテーションで実習全体を把握し、事前学修を充分行い実習に臨む。 2. 臨地実習 1) 老人福祉センターの役割機能を学び利用者とのコミュニケーションやフィールドワークを通して活用可能な資源について理解を深める。 2) 障害福祉サービス事業所または障害者小規模地域活動センターの役割機能を学び、利用者とのコミュニケーションやフィールドワークを通して活用可能な資源について理解を深める。 3) 母子支援施設の役割機能を学び利用者とのコミュニケーションやフィールドワークを通して活用可能な資源について理解を深める。 3. まとめ 1) 学修成果を発表し学びを共有する。 2) 地域で暮らす様々な対象の健康と生活に関する現状や課題をまとめ、活用可能な社会資源について考察する。					【事前】地域・在宅看護学概論 I・II の授業内容を復習し、オリエンテーションで提示される課題に取り組む (2 時間程度)					
教科書	『ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア』石田千絵他編、メディカ出版									
参考文献	『国民衛生の動向 2024/2025』厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会 『看護師のための地域看護学』豊島康子編、ピラールプレス									
備考	担当：高橋由美、小林淳子、真溪淳子、東海林美幸、手塚有希子 非常勤助手：江口美知子 オリエンテーションでは、ゲストスピーカー（伊藤任佐子先生）を招き、実習への理解を深める。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--